

平成 2 8 年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業計画書

(平成 2 8 年 4 月 1 日～平成 2 9 年 3 月 3 1 日)

第 1 財団運営の基本方針

1 所管業務

平成 2 8 年度は、松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設 1 館、文化芸術施設 3 館の管理運営を行います。

自主事業に当たっては、各施設の強みを生かした事業を実施すること、地元にはゆかりのある出演者を招く事業を行うなどして、地域に近い活動を目指します。

施設区分	施設名	開館時期	指定管理の区分		
美術館	松本市美術館	平成14年 4 月	期間：H28/4/1～ 1 年間	特命指定 (非公募)	委託料方式
文化芸術施設	松本市音楽文化ホール	昭和60年10月	期間：H24/4/1～ 5 年間		指定管理料方式と利用料金制の併用
	まつもと市民芸術館	平成16年 8 月	期間：H25/4/1～ 5 年間		
	松本市波田文化センター	平成 7 年 4 月	期間：H25/4/1～ 5 年間		

2 財団の組織強化

(1) 公益事業の推進

一般財団法人移行後、法で義務付けられている公益目的支出計画を着実に進め、公益の増進に努めます。

(2) 経営の健全化

会計・税務処理の適正化及び研修による財団職員の経営能力の向上を図ります。

(3) 財団改革

「財団改革の基本方針」(平成 1 8 年 3 月策定)並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図ります。

3 職員体制

平成28年4月1日予定

単位：人

区分	部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計	
事務局	市職	局長	1	次長 兼会計課長	1	次長補佐 兼会計係長	2	一般事務	1	5
	財団							一般事務	1	1
	計		1		1		2		2	6
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	3			4
	財団							一般事務	1	2
								売店事務	1	
計				1		3		2	6	
音楽 文化 ホール	市職					館長補佐	1	一般事務	1	2
	財団							一般事務	4	8
				館長	1			企画営業	1	
								企画広報	1	
						オルガニスト	1			
計				1		1		8	10	
市民 美術館	市職			事務長	1			一般事務	1	2
	財団	芸術監督	1					一般事務	5	21
		支配人	1			プロデューサー	1	企画制作	6	
								舞台技術	7	
計		2		1		1		19	23	
波田文 化セン ター	財団			館長 (美術館支配人 兼務)		係長 (企画制作兼務)	1	一般事務	1	3
								舞台技術	1	
計						1		2	3	
合計	市職		1		3		6		3	13
	財団		2		1		2		30	35
	計		3		4		8		33	48

第2 各施設の事業計画

1 松本市美術館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実します。

《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。

《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境をつくります。

《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実に努めます。

2 平成28年度の重点的な取組み

基本目標に沿った管理運営を行い、お客さまの満足度の向上を図るため、観覧者や施設利用者など、お客さまの目線に立った接遇に努めるとともに、美術館として快適な環境の提供に努めます。

(1) 平常管理・サービス業務

お客さまに「来てよかった」、「また利用したい」と思ってもらえるよう、ホスピタリティ（思いやり）の向上に努めるとともに適切な施設・設備の維持保全等を図り、お客さまにとって快適な環境の提供に努めます。

ア 受付・監視業務：受付・券売、常設展示室の監視

イ 貸館業務：市民ギャラリー、多目的ホール等の利用申込受付、利用にあたっての支援等

ウ 管理業務：設備保守点検・清掃、警備業務による快適な環境維持等、施設管理

(2) ミュージアムショップ運営業務

常設・企画展示室に続く第3の展示室として、「お客様が夢をお持ち帰りいただく空間」となるようショップ運営に取り組みます。

ア 心地よい空間づくり

イ 展覧会に連動した企画・販売

ウ 人気作家や地域をテーマとした企画・販売

エ シーズンに合わせた企画・販売

3 利用促進対策

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めます。
- (2) 子育て家族にも気軽にアートを楽しんでもらうため「子育てパパママの美術鑑賞日」を特別展示に合わせて設定し、託児を行います。(年24回)
- (3) 芸術館自主事業等と連携した事業を開催し、新たな鑑賞者層の拡大に努めます。
- (4) 市でリニューアルしたホームページについて、運用を担う指定管理者の立場から、より効果的な広報に結びつくものとなるよう協力してまいります。

4 市主催事業との連携強化

- (1) 特別展を中心とした市主催事業に、共催者として広報PRなどの面で積極的な協力を実施します。
- (2) 8月11日(木・祝)の「山の日」は、開館時間を午後7時まで延長します。

《参考》 展覧会等開催予定(市直轄事業)

区分	内 容	会 期	目 標 観覧者数(人)
常設展示	常設展示室A 草間彌生・魂のおきどころ	通 年	32,840
	常設展示室B・C 草間彌生特集展示 館所蔵品を適宜展示公開	【草間特集】～10/10(月)	
		【館所蔵品】10/15(土)～	
	池上・百竹亭コレクション 細川宗英特設展示	通 年	
記念展示	田村一男記念展示室	通 年	
	上條信山記念展示室		
特別展示	トリプルアタック展	2/13(土)～4/3(日)	(28年度分) 330 (会期全体) 5,000
	バーナード・リーチ展	4/21(木)～6/5(日)	11,000
	山の日制定記念 遥かなる山一発見された風景美展	7/16(土)～9/4(月)	15,000
	(仮称)飯沼英樹展	9/17(土)～11/27(日)	12,000
	第7回老いるほど若くなる展	平成29年 3/4(土)～4/9(日)	(28年度分) 4,500 (会期全体) 6,000
28年度合計			75,670

2 松本市音楽文化ホール

活動方針

1 基本目標

(1) 施設管理業務

ア 貸館業務

施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ちよくご利用いただくために、相手の立場に立った親切な対応を心がけます。

(ア) 年間利用者総数

施設利用者及び鑑賞者等を含めた利用者数については、直近平常年度過去3カ年平均を上回る人数を目標に、施設の利用促進に努めます。

(イ) 利用料金収入

平成29年度の空調設備及びメインホール舞台照明設備の改修工事に伴い、ホールは利用できるものの冬期暖房が使用できなくなることから、28年度中の予約減少が見込まれます。しかし小ホールの改修後、音響性能と利便性が向上したことから引き続きこれをPRし、収入の確保に努めます。

目 標	年間利用者総数	100,000人
	利用料金収入	15,650千円

イ 施設維持管理業務

施設及び設備について必要な保守を行い、良好な状態を保つように努めます。

(2) 音楽文化活動普及振興業務

ア 自主事業（公演事業等、目標数値は別記）

(ア) 招聘事業

音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供します。

(イ) 自主企画事業

a 経常自主企画事業

子どもたちが気軽に音楽と接することができるコンサートの他、県内唯一のコンサート用オルガンによる幅広い層に楽しんでいただけるコンサートを開催します。

b 特別自主企画事業

松本市にゆかりのある演奏家による共演コンサートを中心に、多彩なジャンルのコンサートを実施します。

(ウ) 共催事業

市民や音楽団体との共催事業を通じて、市民の音楽文化の向上を図ります。

(エ) セミナー事業

a ホール所有のオルガン、チェンバロの講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。

b 優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じて、音楽技術の向上を図ります。

イ 音楽文化活動支援事業

(ア) 音楽団体の活動支援

- a 登録団体制度に基づいて使用料を一部減免し、地域における音楽団体の活動を支援します。
- b 音楽団体等の演奏会情報等を広く周知するため、ホール情報誌「ハーモニー」(ハーモニーメイト編集・発行)に掲載します。

(イ) ハーモニーメイトの育成援助

団体の自主性を尊重し、事業に協力するとともに育成・援助をします。

(ウ) 音楽関係相談業務

各種演奏会開催に係る、出演者、コンサート企画等についての相談業務を行います。

2 平成28年度の重点的な取組み

基本目標に踏まえた管理運営を行うとともに、より多くの皆様にご利用・ご参加していただくために、次の3点に取り組みます。

(1) パイプオルガン事業の充実

開館30周年記念事業を終え、志を新たに1年目を踏み出すにあたり、パイプオルガン及び専属オルガニストを擁するホールとしての特色を生かし、オルガンコンサートシリーズをスタートします。

(2) 子ども向け事業の充実

パイプオルガンとダンスの共演プログラムを実施するなど、次代を担う子どもたちに音楽(活動・鑑賞)への興味を持ってもらえるよう取り組みます。

(3) ハーモニーメイト(友の会)30周年記念事業

ハーモニーメイト設立30周年を記念し、国内屈指のオーケストラ「新日本フィルハーモニー交響楽団」をハーモニーメイトとの共催で招聘し、創立30周年の年を盛り上げます。

3 利用促進対策

- (1) 施設管理業務に関しては、通常利用の中でご意見をいただくほか、利用者懇談会における音楽愛好団体等の意見を参考に、より利用しやすい施設となるよう常に改善を図り、利用者の増加につなげられるよう努めます。
- (2) 自主事業の企画に当たっては、コンサート時に行っているアンケートを参考とし、多くの皆様に来場いただける魅力ある企画となるよう努めます。
- (3) 多くの来場者・参加者にお越しいただけるよう、各種メディアを通じて積極的に広報活動をするため、次により対応します。

ア ハーモニーメイトとの連携により、情報誌ハーモニーに記事を掲載して、音楽愛好家等への周知を図ります。

イ 地元紙の広告会へ引続き入会し、定期的な広告及び関連記事の掲載等により、広く地域住民等への周知を図ります。

ウ 中央の音楽情報誌への広告掲載により、観光とのタイアップも考慮し、県外ファン獲得のための広報活動を行います。

エ FMまつもとの番組中に積極的に職員が出演しPRするとともに、従来どおりテレビ松本の「広報まつもと」を活用します。

オ ホール公式ホームページのほか、松本市公式ホームページ、フェイスブックを通じて、さらに広報活動を充実させます。

事業内容

1 公演事業等

区分 番号	事業名称等	開催時期	支出見込 (千円)	収入見込(千円)	
	演奏会内容	参加人員(人)		事業収入	市委託料
1	招聘事業	2,550	29,291	18,050	11,241
1	チック・コリア ピアノ・ソロ・コンサート	5月25日(水)			
	奇跡の松本公演	600	9,186	5,400	3,786
2	ヒラリー・ハーン ヴァイオリン・リサイタル	6月5日(日)			
	研ぎ澄まされた技巧と高貴なる響き	500	5,433	3,500	1,933
3	レ・ヴァン・フランセ	10月29日(土)			
	木管アンサンブルの歴史を変えるドリーム・チーム	500	4,634	3,000	1,634
4	カメラータ・ザルツブルク	11月25日(金)			
	モーツァルト協奏曲のタベ	550	8,228	4,950	3,278
5	佐藤俊介・小菅優・ロレンツォ・コッポラ トリオ	2月12日(日)			
	20世紀のトリオ ヴァイオリン、ピアノとクラリネット	400	1,810	1,200	610

区分 番号	事業名称等	開催時期	収入見込(千円)		
	演奏会内容	参加人員(人)	支出見込(千円)	事業収入	市委託料
2	自主企画事業	3,500	15,541	8,440	7,101
	(1) 特別自主企画事業	1,450	11,146	6,880	4,266
1	桐山建志・大塚直哉 バロック音楽の楽しみ	7月10日(日)			
	バロック音楽の宝庫、スズキ・メソードの指導曲集	400	882	800	82
2	福田進一・工藤重典 デュオ・リサイタル	9月18日(日)			
	パリの朋友たちが奏でるアンサンブル	400	1,484	800	684
3	新日本フィルハーモニー交響楽団	10月1日(土)			
	ハーモニーメイト創立30周年記念特別演奏会	650	8,780	5,280	0
	(2) 経常自主企画事業	2,050	4,395	1,560	2,835
1	ザ・ハーモニーホール オルガンコンサートシリーズ	4月24日(日)			
	若手サクソフォン奏者たちと共に	350	1,294	525	769
2	栗形亜樹子 チェンバロ・リサイタル	5月22日(日)			
	組曲ってなあに?ダンスがなければ始まらない!!	100	507	200	307
3	夜オルガンV o l . 4	7月1日(金)			
		300	267	150	117
4	THE鍵盤フェスタ!	7月31日(日)			
	ホールのオルガン、チェンバロ、ピアノを見て聴いてさわって感じて、鍵盤楽器のすべてを知ろう!	450	410	0	410
5	ザ・ハーモニーホール オルガンコンサートシリーズ	11月6日(日)			
	立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊と共に	350	1,230	525	705
7	夜オルガンV o l . 5	12月16日(金)			
		300	267	150	117
8	こどもオルガン劇場 ぼっぼぼオルガン	3月19日(日)			
	小さなオルガンのゆかいな妖精「ぼっぼぼくん」がやってくる!(小型オルガンとダンスによる子ども向けダンスパフォーマンス)	200	420	10	410

※負担金収入3,500千円を、「新日本フィルハーモニー交響楽団」へ充てるため、市委託料は発生しない。

区分 番号	事業名称等	開催時期	収入見込(千円)		
	演奏会内容	参加人員(人)	支出見込 (千円)	事業収入	市委託料
3	共催事業	15,000	0	0	0
1	第37回 新人演奏会	4月17日(日)			
	音楽関係大学等新春卒業者による演奏会	300	0	0	0
2	第30回 島内灯籠まつり	8月7日(日)			
	地元町会恒例の夏祭り	13,000	0	0	0
3	2016セイジ・オザワ 松本フェスティバル	8月20日(土)			
	ふれあいコンサートⅠ	600	0	0	0
4	2016セイジ・オザワ 松本フェスティバル	8月27日(土)			
	ふれあいコンサートⅡ	600	0	0	0
5	第31回 ニューイヤー松本ボーカルフェスティバル	3月26日(日)			
	地元縁のボーカリスト共演によるコンサート	500	0	0	0
4	セミナー事業	425	1,491	770	721
1	第15期 チェンバロ講習会(全5回)	5回			
	講師=栞形亜樹子(バイエル修了者対象)	75	680	150	530
2	オルガン講習会	6回×2			
	講師=原田靖子(一般市民対象)	10	0	120	△120
3	管楽器&指揮法クリニック	調整中			
	講師=洗足学園講師陣(高校生対象)	200	710	0	710
4	弦楽合奏・サクソフォンクリニック	調整中			
	講師=古典四重奏団団員、他(高校生等対象)	40	101	0	101
5	オルガンレッスン	通年			
	講師=原田靖子	100	0	500	△500
合計	23事業	21,475	46,323	27,260	15,563

※2 セミナー事業中、オルガン講習会及びオルガンレッスンは、ホール専属オルガニストによるもので、謝礼等の支出を伴わないもの

3 まつもと市民芸術館

活動方針

1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

2 平成28年度の重点的な取組み

- (1) 串田和美芸術監督の新しい演出による「K. テンペスト」を再上演し、県外公演だけでなく県内でも公演し、ホール間の交流を図ります。また、平成27年度に好評を得た、劇場から街へ飛び出すフライングシアターを再び市内で開催します。更に、「海の風景」の県外公演、アジアのアーティストとの共同によるダンス公演実施等により、市民芸術館からの創造・発信を多角的に推し進めることとします。
- (2) 「第5回信州・まつもと大歌舞伎」はフェスティバル化を目指し、期間中、国際シンポジウムや木ノ下歌舞伎、学びの事業などの関連事業を充実させます。
- (3) 芸術性の高い作品から娯楽性のある作品までバランスよくラインナップし、より多くの市民に鑑賞していただけるよう努めます。
- (4) 公式ホームページやメールマガジン、広報誌等従来の方法のほか、ツイッターやフェイスブックといったSNSも積極的に活用し、常に最新の情報をタイムリーにお客様に提供して、幅広い市民の来館を促します。
- (5) インフォメーションコーナー・ショップの充実や、シアターパーク・トップガーデンの利活用を進め、館の付加価値を高める活動も充実させます。
- (6) 今まで以上に国をはじめ、さまざまな助成制度を積極的に活用するなど、自主事業財源の確保に努めます。

3 利用促進対策

- (1) アンケート調査等に基づいて、要望を把握し公演ラインナップの参考とします。
- (2) 来館者に好評を得ているインフォメーションコーナーのフリーペーパースペースには、自主事業（公演）に関連する書籍・資料等のほか、芸術文化に関する資料なども展示し、気軽に来館を促す取組みを進めます。
- (3) シアターパークを、ポスター・写真・絵画等の展示や、音楽・ダンスなどを気軽に発表できる場として、更に環境整備を進めることとします。
- (4) チケットクラブ会員を対象とした自主事業（公演）のチケット先行販売などの販売促進対策を進めることとします。
- (5) 中学・高校の職場体験やインターンシップを積極的に受け入れることにより、若者の芸術館への理解度を深めるよう努めます。

1 自主事業

(1) 創造・発信型事業

平成26年度に上演した串田和美芸術監督演出・出演の「K. テンペスト」を、新しい演出により再上演するほか、TCアルププロジェクトの新作出演を上演します。また「スカパン」凱旋公演で好評だったフライングシアターを今年度も実施するほか、新たな取り組みとしてのアジアのアーティストとの共同によるダンス公演（Cross/Transit Project）などにより、芸術館からの創造・発信を進めます。

(2) 鑑賞・招聘型事業

当館の各舞台空間を十分に活用するジャンルをそろえ、現代演劇、古典芸能、ダンス、音楽コンサート等をバランス良く提供します。白井晃、長塚圭史によるストリンドベリ作品の演劇化「ドリームプレイ」や、子供から大人まで楽しめる「ひつじ」の再演、定番となりつつある中村屋兄弟の歌舞伎舞踊（錦秋公演2016）、尺八とマリimbaによるコンサート（道山・SINSKEコンサート）に加え、茂山千五郎家若手による誰にでも分かる狂言（花形狂言2017）など、様々な年齢層の要望に応えるラインナップとします。

(3) 教育普及・育成型事業

ア 隔年開催している「信州・まつもと大歌舞伎」にあわせ、地方創生や歌舞伎などをテーマにしたシンポジウムや、子どもたちに古典芸能を理解してもらうための学びの事業を実施します。

イ 高校演劇は、高校の枠を超えた3カ年の作品づくりに協力するなど、今までから1段階進めたサポート体制を構築します。

ウ 演劇工場（シアターファクトリー）は、加藤直工場長と串田和美芸術監督監修により引き続き第5期生を募集し、新たな受講生とともに学び、演ずる機会を提供します。

エ 各公演に連動するだけではない市民を対象としたワークショップ、レクチャーを内容、事業数共に充実させ実施します。

オ 広報誌「幕があがる」は、話題、内容、仕上がりについて評価を得ていることから、芸術館のひとつの作品としてさらに充実させていきます。

(4) アウトリーチ事業

まつもと演劇工場の卒業生等による市内保育園等での公演など、市民芸術館による公演を充実し、更に多くの観客動員を目指します。

(5) 観光・地域活性化協働事業

「まつもと街なか大道芸フェスティバル」とともに隔年で夏のフェスティバルの一翼を担う「信州・まつもと大歌舞伎」を、関連事業を充実させて開催し、夏の賑わいを創出します。

(6) OMF 関連事業

セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会との共催により、子どものためのオペラを開催するとともに、OMF オペラ「子どもと魔法」開催に向け、人的・物的な支援・協力を行います。

事業の詳細は次のとおりです。

2 事業概要

事業内容		ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)	
						事業収入	市補助金
(1) 創造・発信型事業				7,500	78,610	40,270	38,340
1	「海の風景」県外公演	演劇	4月	3,200	290	850	△560
2	Cross/Transit Project	ダンス	9月	1,600	6,150	2,930	3,220
3	フライングシアター公演	演劇	9月	1,000	21,580	8,810	12,770
4	TCアルプ新作公演	演劇	10月	500	14,550	6,870	7,680
5	「K. テンペスト2017」	演劇	2月	1,200	36,040	20,810	15,230
(2) 鑑賞・招聘型事業				8,330	88,610	60,550	28,060
1	「ドリームプレイ」	演劇	5月	600	16,990	8,940	8,050
2	「羊」	演劇	5月	250	900	450	450
3	「ロイヤルキャンプ」	演劇	5月	250	900	450	450
4	道山・SINSKEコンサート	音楽	5月	200	2,330	920	1,410
5	エレヌ・グリモーコンサート(共催)	音楽	6月	600	0	50	△50
6	ルパン三世コンサート(共催)	音楽	6月	1,000	0	50	△50
7	木ノ下歌舞伎	演劇	7月	450	9,410	7,620	1,790
8	「かもめ」	演劇	11月	1,000	11,190	8,950	2,240
9	錦秋公演2016	古典	11月	2,000	11,930	15,120	△3,190
10	串田和美演出作品	古典	12月	1,000	15,990	7,800	8,190
11	KERA演出作品	音楽	12月	300	8,990	4,820	4,170
12	花形狂言2017	演劇	1月	400	3,070	2,430	640
13	ピーピングトム	ダンス	3月	280	6,910	2,950	3,960
(3) 教育普及・育成・市民参加型事業				11,700	34,460	17,740	16,720
1	高校演劇講習会	演劇	通年	100	0	210	△210
2	国際シンポジウム	その他	7月	450	2,880	1,500	1,380
3	学びの事業	その他	7月	400	2,080	0	2,080
4	子どものためのオペラ(OMF共催)	オペラ	9月	6,000	6,500	0	6,500
5	高校演劇中信地区大会	演劇	9月	300	0	0	0
6	チャオ バンビーニ	その他	11月	1,500	4,550	6,550	△2,000
7	大舞踏会(共催)	ダンス	1月	300	0	0	0
8	まつもと演劇工場(シアターファクトリー公演)	演劇	3月	470	13,340	9,340	4,000
9	こどもたちの映画祭(共催)	その他	3月	2,000	0	50	△50
10	バックステージツアー	その他	3月	180	110	90	20
11	市民オペラ	その他	通年	0	5,000	0	5,000
(4) アウトリーチ事業				500	0	0	0
1	市民芸術館アウトリーチ公演	演劇	通年	500	0	0	0
(5) 観光・地域活性化協働事業				13,500	20,000	0	20,000

事業内容	ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)	
					事業収入	市補助金
1 第5回信州・まつもと大歌舞伎	その他	7月	13,500	20,000	0	20,000
学芸事業			-	22,720	25,840	△3,120
総計(31事業)			41,530	244,400	144,400	100,000

3 貸館事業

目標	利用料金収入	29,790千円
----	--------	----------

- (1) 利用者の興行、催事が成功するよう専門的な立場から支援します。
- (2) 一般利用の開館時間は、午前8時30分から午後10時ですが、利用計画により柔軟に対応します。また、休館日も利用の少ない日に設定するなど利用者の要望に応えます。
- (3) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、学会やイベント事業等の利用も推進します。
- (4) 平成28年度実施予定の主な大会・集会

No	開催時期	名 称	施 設
1	5月	第2回日本心筋症研究会	小ホールほか
2	6月	才能教育指導者研究会	全館
3	7月	平成28年度信濃教育会総集会	全館
4	7月	第57回日本人間ドック学会学術大会	全館
5	8月	才能教育夏期学校	全館
6	9月	第129回中部日本整形外科災害外科学会	全館

4 協働推進事業

ホールボランティアを芸術館のパートナーと位置付け、来館者サービスの向上を図るため、職員とともに育成事業を実施します。

- (1) 劇場フロントスタッフのための技術習得や接遇等の各種研修、先進施設への視察の実施
- (2) 防災訓練等の共同実施

5 その他

施設見学や職場体験、インターンシップ等を積極的に受け入れます。

4 松本市波田文化センター

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の援助を行います。

2 平成28年度の重点的な取り組み

- (1) 27年度に行った利用者および事業アンケートの結果を踏まえて、より多くの方々に気持ち良く利用・参加していただき、次回の来館につながるようにサービスの向上に努めます。
- (2) 利用者の少ないギャラリー、ハイビジョンシアターを使用していただくために、使い方などを提案し、利用率のアップにつなげます。
- (3) 本ホールの特徴ともいえる音響設備を生かしたコンサートを企画するなど、アクトホール「らしさ」を出せるように進めていきます。

3 利用促進対策

- (1) 自主事業、貸館事業ともにアンケート調査を行い利用者のニーズに合った運営を心がけます。
- (2) 公演の広報には、コミュニティーFM局やフェイスブックなどの可能なツールを開拓し、公演ごとに効果的な方法で発信できるように努めます。

事業内容

1 自主事業

- (1) 自主事業については、アクトホール（定員：260人）でホールの特性を生かしたプログラムを企画します。
- (2) 松本市の西部地域の文化の拠点として、地域と密着した活動を実施します。
- (3) 地元の団体、保育園、学校等と連絡を密にする中で、公演に伴うワークショップやアウトリーチなどを積極的に行っていきます。
- (4) 継続している事業についても、より参加しやすく楽しんでいただけるように工夫して実施します。

2 事業概要

区分 番号	事業名称等	開催 時期	支出 見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	内容	参加 人員 (人)		事業 収入	市委 託料
(1) 鑑賞型事業		664	3,110	1,232	1,878
1	波田少年少女合唱団 アンサンブルコンサート2016	6月			
		224	290	112	178
	2	帰ってきた！くるくるトンデモ☆サーカス (親子対象のサーカスパフォーマンス)	11月		
		220	810	350	460
3	PA（音響拡声装置）を利用したコンサート (男声ボーカルによるアコースティックコンサート)	9月～11月			
		220	2,010	770	1,240
(2) 市民参加型事業		46組	280	68	212
1	第17回ピアノカーニバル (ベーゼンドルファーの市民コンサート)	9月			
		30組	250	60	190
2	来て、観て、弾いてみて、ベーゼンドルファー (第3回ベーゼンドルファーの自由演奏)	2月			
		16組	30	8	22
(3) 事業共通			160	0	160
1	事業共通費	通年			
			160		
合計	5事業		3,550	1,300	2,250

3 貸館事業

目標	利用料金収入	3,080千円
----	--------	---------

- (1) 利用者の立場に立って、充実した催事が行えるよう支援し、今後の継続した利用につなげていきます。
- (2) 利用者アンケートの結果を参考に、利用者の要望に柔軟に対応してまいります。
- (3) 利用促進のために金額や使用例を掲載したチラシを配布し、新しい利用者の獲得に努めます。